

令和2年度 社会教育委員 第2回会議

令和2年6月30日(火)

15:13~16:06

市立初倉公民館 第1・2集会室

【出席者】

社会教育委員：出席委員：10人

田代廣保委員(議長)、北川美幸委員(副議長)

大石絵美委員、青山朝美委員、八木博委員、熊谷紀男委員、

中村吉哉委員、鈴木美香委員、萩原淑恵委員、松本敬人委員

欠席委員：無し

教育委員会社会教育課出席者：3人

小林社会教育課長、伊藤課長補佐兼青少年係長、

佐野社会教育係長

【議事】

1 開会 15:13

- ・来月に研修会を控えるため、前回に続き日中の開催。
- ・新型コロナウイルスに関し「新しい生活様式」に沿っての会議の開催。終了予定時刻を16時15分ごろとし、できるだけ短く1時間の会議としたい。

2 議長あいさつ

(田代議長)

- ・新型コロナウイルスが、社会活動の各方面に大きな影響を与えている。テレワークなどが始まったが、決してよい影響ばかりではない。在宅勤務に満足しているか？との問いに対し、オンライン鬱、テレワーク鬱なるものが現れている。
- ・研修会が来月となった。御協力をお願いしたい。

3 社会教育課長あいさつ

(小林社会教育課長)

- ・ようやく6月から講座を再開した。気をつけながらやっていけたらよいと思う。

4 報告

- ・県及び中部地区の社会教育委員連絡協議会の総会が、新型コロナウイルスの

関係で、いずれも書面決議で実施された。

(役員人事)

- ・ 中部地区の会長だった菊川市の中畠委員が県会長に選出。
- ・ 焼津市の渡辺委員が中部地区の会長に選出。
- ・ 島田市から、県・中部地区とも田代議長が役員に選出。

(研修会)

- ・ 中部地区全体研修会 10/16 牧之原市
- ・ 県研修会 1/15 三島市

## 5 議題

### ① 中部地区社会教育委員連絡協議会志太地区研修会

(事務局説明)

- ・ 会場を予定していた静岡空港と折衝を重ねてきたが、メイン行事の空港の制限エリアにある施設見学について、いずれの施設からも視察許可が下りないということになった。新型コロナウイルスの影響とのことである。
- ・ しかし、会議だけを空港で開催したところで社会教育委員が得るものが無いのでは？という疑問と、及び空港そのものが閉鎖になる可能性も皆無ではないと懸念から、大変急な変更であったが、会場を初倉公民館に変更した。
- ・ 初倉公民館は、空港の地元地区でもある。
- ・ ただし、大きな部屋を終日押さえることができなかつたため、リモートによる複数会場の接続使用については空港会場案のままとし、リモート体験を主体にした研修会とする。新型コロナウイルスとの共生時代の社会教育を実体験しようというものである。40人参加の見込みなので、3密を避け2室を使う。
- ・ 予算は、協議会からの交付金が12万円を充てる。
- ・ 空港の会議室使用料は不要になることから、この経費を用い、リモートに関するノウハウを有した市内の若手業者に外注する。コロナ禍に見舞われた市内若手業者に機会を与え、市中経済の活性化にも貢献させる。
- ・ 例年になく出費として、アルコールなどウイルス対策物品の購入を予定。御協力をいただく初倉公民館に、非接触式体温計を寄付。
- ・ 他は消耗品など、通常通りの予算執行を予定。

(研修担当グループ担当 北川副議長)

- ・ 当初の予定から二転三転どころか、四転五転という感じで、事務局は大変。空港の担当とも話をしたのに、こうなってしまった。
- ・ しかし、会場を変えたことでできることも見えてきた。

- ・委員皆さんの御協力をお願いしたい。
- ・まさしく「コロナと共に」を、どう成し遂げるか。衛生管理をして、無事に遂行したい。

(研修担当グループ担当 大石委員)

- ・コロナ対策で機転を利かせてリモートを使った研修会にするなど、まさしく今でなければできない、良い研修になるのではないかと思う。

(田代議長)

- ・事務局用の部屋を含め、3つの部屋をリモートで繋ぐ予定。

### 【質疑・意見】

Q：リモートでは、会場以外で見ることができるのか（北川副議長）

A：ZOOMを使用し、会場以外からも見ることができるようにする。（大石委員）

リアル会場は、委員は2部屋に分散。リモート参加は今のところ2名。小笠・榛原地区との間では、今年度は相互の見学は見合わせているので、リモートの案内のみした。また、西田公民館長のプレゼンテーションもあるので、市内公民館でも見てもらうよう招待メールを送る（事務局）

Q：萩原委員と館長のプレゼンテーションは？（田代議長）

A：初倉公民館を中心に、寺子屋やこども食堂がどのように行われているかを説明したい。（萩原委員）

Q：リモートは一方通行なのか？（北川副議長）

A：他市からリモートする委員長と、リアル参加する副委員長とどちらに御挨拶をいただくか調整中。リモートとリアルは対等…とはいうものの、どうすべきか。

県社教連の会長にも依頼はしているが、地元事務局の協力が必要となる。

(事務局)

Q：ほぼ「見るだけ」ということになるのか（北川副議長）

A：大半の方については「見るだけ」となる。

ただし、今回は「出来るようになる。使えるようになる」ための研修ではなく、「こういうものなのだ」と体験してみることが目的なので、リモートで参加するところまでは考えていない。（事務局）

Q：県会長からメッセージは貰えないのか？（田代議長）

A：技術的な面も含め、依頼を調整中。(事務局)

Q：午前と午後の会場を入れ替える配慮は？2つ目の部屋の委員は画面を見ているだけになってしまうのでは。また、マスクをずっと着用すると疲れるが、その配慮は？(松本委員)

A：入れ替えは検討中だが、荷物を全て持って退出していただく必要がある。それができれば可能。

また、2つ目の部屋の様子も撮影され1つ目の部屋で見えるようになるので、相互の様子がわかるようには配慮している。

交流タイムの際、マスクでは苦しいと思われる。フェイスシールドを用意するよう予算調整中。(事務局)

Q：委員間は2mの間隔は取れないのか？それないのであれば、やはりシールドが欲しい。また、時間を短くしてやるしかないのでは。議論が白熱してくると、どうしても近くなってくる。(北川副議長)

Q：「研修会で学んだこと」よりも具体的なテーマにすれば、時間が短くならないか。または、今回の研修の感想でよいのか。(鈴木委員)

6人がひとりずつ感想を言い、まとめてもらって発表では。議論すると長くなる(北川副議長)

まとめそのものも無くしてしまっても、それだけにしてもよいのでは。コロナと共に、であれば御容赦いただけるのではないか。発表だけでも時間を取ってしまう。(松本委員)

あとで報告書を班ごとに貰えばよいのではないか。(北川副議長)

A：報告書案を採用。(事務局)

Q：各グループに島田市の委員が入るのなら、班のファシリテートと記録をお願いし、時間を限ったらどうか。(鈴木委員)

A：内容の発表は、その場ではなく事後で送付にすれば。(事務局)

Q：今まで、各委員の感想の記録を取っていたか。(田代議長)

A：発表をその場でした。記録を取っていなかったと思う。(北川副議長)

(田代議長)

では、研修会については、今の協議により進めたい。よろしければ拍手で御承認をお願いしたい。

(拍手で承認)

## ② 検討テーマ「家庭教育の在り方」

(田代議長) 本日、この会議の前に簡単なワーキングを開催した。座長の熊谷

委員から説明を。

(熊谷委員)

- ・ 事前に資料を提出していただき、説明・解説・質問・検討を行った。
- ・ 1回では終わらないが、大体の枠組み、構成、章立て、内容について話し合った。研修会以降に次回のワーキングを設ける。
- ・ 今日の内容を私がまとめ、各委員に送る。
- ・ 内容について意見を聞いたのは初めてだったので、非常に有意義だった。

【質疑・意見】無し

## 6 その他

(事務局から連絡事項)

- ・ 7月21日研修会の集合時刻については、研修ワーキングでの協議結果をメールで連絡する。恐らく8時半集合。来られない人がいれば申し出を。(申し出た委員無し)
- ・ 今年度あと4回会議を開催。9、11、1、2月でどうか。
- ・ 昼と夜の開催ではどうか。  
→今年度から施設に勤務しているので、やりくりが必要。できたら29日から3日(月末と月始)の昼は避けて欲しい。

(松本委員)

- ・ 次回は9月25日(金)夜19時開催に決定。プラザおおるりを予定。

## 7 閉会 16:06